

# 30 ラグビーフットボール

## rugby football

### 1 主旨

滋賀県民体育大会は、県民の間に広くスポーツを振興して、この普及発展とスポーツ精神の高揚を図り、健康明朗にして活動力豊かな県民の育成に寄与するものであり、明るく正しいスポーツの普及発展を促進し、初期の目的を達成することを期するものであります。

本県では国体種目でありオリンピック競技でもある「7人制ラグビー」をメイン競技種目として、県民体育大会を開催いたします。また、楕円形の持つ魅力をより多くの県民の方々に体験頂く機会として、従来の接触プレーを排除した「タッチラグビー」もサブ競技種目として行います。

2024年には国民体育大会が滋賀で開催予定されております。ラグビーへの関心や理解がラグビー人口の拡大に繋がると信じ、普及・育成・強化に繋がる大会を目指します。

### 2 日時

平成29年4月16日（日） AM11:00～（第一試合）／AM9:30 集合

※競技委員と補助役員（各チーム計3名）の集合時間はAM9:30 厳守

※開会式・閉会式は行いません

### 3 会 場

希望が丘 球技場

※雨天決行。但し、大雨などの時は、希望が丘施設使用規定に基づき、草野球場での開催、又は中止の場合も予想されますのでご了承ください。

### 4 主 催

滋賀県・野洲市・（公財）滋賀県体育協会

### 5 主 管

滋賀県ラグビーフットボール協会

### 6 部 別

一般の部 7人制ラグビー・タッチラグビー

### 7 出場チーム

#### ①【7人制】

滋賀県ラグビーフットボール協会に登録されたクラブ及び大学の単独・混成チームとする。

#### 【タッチ】

滋賀県ラグビーフットボール協会に登録されたクラブ及び大学、又は滋賀県を所在地とする一般団体の単独・混成チームとする。

## ②【共通】

参加チームは、1所属で複数チームを構成し参加することも認めるが、選手が複数チームへ重複登録することは認めない。

## ③【共通】

チームの登録選手は12名以内とする。

# 8 参加資格

## ①【7人制】

選手は原則として、滋賀県協会に登録されたチームに所属し、且つ個人登録をした者で、満18才以上であること。

### 【タッチ】

上記が望ましいが、協会に個人登録をしていない者も年齢を満たしていれば可。

## ②【共通】

選手は（公財）スポーツ安全協会スポーツ安全保険（平成29年度分）等に参加していること。

## ③【7人制】

参加資格規制緩和について

チームの部員獲得運営の活性化を目的に、平成29年土登録予定者（新年度/新入部員）を試合に出場させることを認めます。ただし、この大会のみ参加することは認めず、新年度に必ず滋賀県協会に登録をする者に限ります。

またこの場合、チーム責任として、必ず参加申込みとスポーツ安全保険の加入をお願いします。緩和意図をご理解の上、くれぐれも、一時的な加入とならないようお願いいたします。

## ④【共通】

競技委員1名と補助委員2名（各参加登録チーム計3名）を必ず派遣すること。

大会当日の会場準備及び運営（記録・SA・ボールボーイなど）のお手伝いをさせていただきます。

# 9 参加費

① チームは参加費として¥4,000を大会当日に本部にて徴収いたします。

※レフリー交通費は参加費より精算しますので、準備の必要はありません。

② 選手交通費・その他の経費は各チームで負担してください。

# 10 参加申込

所定の参加申込書を1部作成し、平成29年3月20日（祝）必着で下記までメールにて申し込んでください。

送付先／滋賀県ラグビーフットボール協会 クラブ委員長 松田満

[E-mail／matsuda@honsho.co.jp](mailto:matsuda@honsho.co.jp)

電話／090-3728-5794

# 11 競技方法

## ①【7人制】

参加チームによるリーグ戦を行う。但し、参加多数の場合は、予選リーグ・決勝トーナメントによる対戦を行う。

### 【タッチ】

予選は参加チームを2ブロックに分け、ブロック毎にリーグ戦を行う。

決勝は各ブロックの同一順位チームの対戦をもって順位を決定する。但し、参加数が少ない場合は、トーナメント方式などに大会形式を変更して行う場合がある。

### ②【共通】

対戦方式及び組合せについては、大会事務局にて決定する。なお、組合せについては、大会事務局において、抽選を行い決定する。

## 12 表 彰

### ①【共通】

トーナメントの1位、2位を表彰する。

## 13 その他

### 【共通】

- ① 試合中の傷害については、現場において応急の医療手当てを施すが、それ以後の責任は負わないものとします。
- ② 健康保険証等を必ず持参すること。
- ③ 出場選手は、事前に健康診断を受けておくこと。
- ④ テーピングのテープ、紙屑、吸殻、ドリンク等類のゴミの後始末は各チームで行うこと。

## 14 競技規則

### 【7人制】

- ① 平成28年度（公財）日本ラグビーフットボール協会制定の競技規則によって行う。
- ② 各試合の登録選手は、1チーム12名以内とする。各チームは試合ごとに登録した12名のなかのリザーブ選手5名を交代（入替え）させることができる。但し、負傷により退場（出血交替は除く）、交替したプレイヤーは再びその試合に出場することはできない。
- ③ 未登録の選手を出場させてチームは試合を没収する。
- ④ 出場選手が6名に達しないチームは棄権と見なす。
- ⑤ 試合時間は7分ハーフとし、ハーフタイムは1分とする。但し、決勝戦については、10分ハーフとし、ハーフタイムを2分とする。
- ⑥ シンビン을適用する場合は退場時間を2分とする。
- ⑦ 第10条に従って退場処分となった選手は、対象試合以降の試合の出場を認めない。また、規律委員会においてその処置を決定し、当該チームの責任者に伝達する。
- ⑧ 試合時間内に勝敗が決まらない場合は、次の順序により予選順位やトーナメント次回戦の出場を決定する。但し、決勝戦においては、延長戦を行い、先に得点したチームが勝者となる。
  1. トライ数の多いチーム
  2. トライ後のゴール数が多いチーム
  3. 抽選による
- ⑨ レフリー・ARは大会本部で指名する。但し、SAや給水係は各チームで行うこと。

### 【タッチ】

- ① 大会事務局制定の競技規則によって行う。

- ② 未登録の選手を出場させたチームは試合を没収する。
- ③ 試合時間内に勝敗が決まらない場合は、抽選によりトーナメント次回戦の出場を決定。
- ④ レフリーは大会本部で指名する。
- ⑤ 競技規則の詳細については「◎タッチラグビー競技細則」を参照のこと。

## 15 注意事項

- ① 試合の運営を円滑に進める為、時間には特に厳守ください。
- ② メンバー表提出については、下記事項を注意ください。
  - A) 黒鉛筆又はボールペンで記入のこと
  - B) 氏名にはフリガナをつけ、主将にはポジション番号を○で囲むこと。
  - C) P マークを付けること。【7人制】
- ③ ジャージ、パンツ、ストッキングは必ず同一のもので揃え、背番号を付けること。なお、アンダーパンツについては、白、又はパンツと同色とする。試合中のジャッジ混乱を避ける為、各チームでサブジャージをご用意ください。【7人制】
- ④ 選手の入替は必ず競技役員に申し出ること。

---

## ◎タッチラグビー競技細則

### 《服装》

選手のユニフォームは、上着は統一し、短パンを着用。  
シューズは、固定式のスパイク・アップシューズのみ使用可とする。

### 《チームの構成と選手の交代》

- (1) 1 チーム 6 人のフィールド内選手とその他 6 人までの交代選手で編成する。
- (2) 選手の交代は、随時何回でも出来る。  
※但し、選手の交代は自陣のオフサイドライン上からピッチに入り、競技に加わること。
- (3) 1 人の選手が複数のチームで試合にでることは禁止する。

### 《試合時間》

試合時間は、予選リーグは前半 7 分、ハーフタイム 2 分、後半 7 分で行なう。  
決勝リーグは、前半 8 分、ハーフタイム 2 分、後半 8 分で行なう。

### 《競技方法》

- (1) 楕円球を使い、前にはパス出来ず、ボールを落としても攻守が交代となります。
- (2) 試合開始はグラウンド中央で、攻撃側のタップで開始されます。得点後の再開は、得点しなかったチームが競技場中央でタップにより行われる。ハーフタイム後の再開は、サイド変更後、開始時にタップを行わなかったチームが、競技場中央でタップして開始する。
- (3) 攻撃側はボールを持つ人が、守備側の人に手で触れられる（タッチ）と、足の間から後ろにボールを転がして（ロールボール）攻撃を再開する。
- (4) 攻撃側は反則が無い限り 5 回タッチされるまでプレーを続行できます。タッチされた後の攻撃はロールボールで再開する。（攻守交替）
- (5) ボールを相手側ゴールライン上または超えた所にグランディングすることで得点とな

る。

- (6) タッチは最小の力で行い、タッチは片手で有効です。タッチ成立は、防御側によるタッチのみ有効とし、ボールを持った攻撃側の防御側への故意のタッチや、接触の場合はタッチは認められません。(タックルや激しいタッチは禁止)
- (7) タッチが成立か否かについての判定は、レフリーのホイッスルやコールに準ずる。ノータッチにも関わらず、ロールボールを行った場合は攻守交代となります。
- (8) タッチがおこなわれた場合、防御側の全選手は、タッチの位置から直ちに 3m 下がらなければならない。
- (9) 防御側がタッチ後、3m 後退せずにタッチをしに行った場合は、ペナルティとなる(オフサイド)
- (10) 攻撃側はタッチされた位置を越えてロールボールをすることは出来ない。(アゲイン)
- (11) ロールボール後、最初にボールを持った選手(ハーフ)は得点する事ができない。ハーフは一度もパスをしないでタッチされた場合は、ハーフタッチとなり、攻撃権が終了する。
- (12) ロールボール開始と同時に、防御側は前へ進んでも良い。従って、ロールアウト前に前進した場合はペナルティとなる。なお、アクティングハーフが不在の場合は、オンサイドのプレイヤーは前進しても良い。
- (13) 自陣のインゴールでタッチされた場合は、ゴールラインから 3mの地点で再開される。またインゴールにおいて反則があった場合は、同じく 3mの地点で、相手側のタップによって再開される。

#### ★タップによるプレー開始

(防御側はタップの地点から 5m後退しなければいけません)

オフサイド／防御側が 5m下がらずにタッチに行った場合。

ハードタッチ／激しく、強くタッチをした場合。

オブストラクション／防御側が攻撃側のプレーを妨げた場合。

攻撃側が防御側のプレーを妨げた場合。

遅延プレー／意図的にプレーを遅くさせた場合。

7人以上グラウンドに出ている場合。

その他不正プレー

#### ★ ロールボールによるプレー開始

(防御側はロールボールの地点から 3m後退しなければいけません)

ノックオンやフォワードパス

ハーフタッチ／ハーフが一度も味方にパスをしないでタッチされた場合。

ハーフがトライをした場合。

ラインタッチ／ボール及びボールを持ったプレイヤーがタッチラインに触れるか

又はタッチラインを超えた場合。

ノットボールコントロール・・・正しくロールボールをされなかった場合。

タップを正確に行わなかった場合。